



スコシ・カデナ 2012年 主な出来事

第18航空団広報局



1月 太平洋空軍司令官ノース大将が嘉手納基地を訪問、空軍兵の日頃の労をねぎらう。



2月 グアムのアンダーセン空軍基地にて、日米間で調整された初の「航空機訓練移転」に則った訓練が行われ、嘉手納基地の空軍部隊が参加。

日米エアフォース友好協会の主催する嘉手納基地視察団が基地を訪問。

第20回あきなわマラソンのフルマラソンに出場した過去最多の1万1211人のランナーの内、およそ1万人のランナーが、嘉手納基地内のコースおよそ2.8キロを駆け抜けた。



3月 補修工事中であった嘉手納基地の北側滑走路の工事が終了し、17ヶ月ぶりに南北の両滑走路が再開。



4月 第2回アース・フェストが嘉手納基地で開催され、参加者はゲームやクイズを通して省エネの大切さやエコロジー、環境保全について学んだ。



5月 『嘉手納ショーグン』の男女両チームが、那覇ハーリーに出場。空軍男子チームがAグループで一位入賞し、過去18年間で初めて決勝進出をなし、新たな歴史を刻んだ。



6月

新しい取り組みとして嘉手納基地のボランティア約10名が嘉手納外語塾を訪れ、塾生約20名と英会話交流。

嘉手納外語塾とのスピーチプログラムの一環として、第18任務支援群副司令官のピーター・ポロック中佐が講師として訪問。家族、自身の略歴、趣味、またリーダーシップについて語った。



NCO Academy（下士官学校）の2012年第5期生よりボランティア27名が沖縄市の特別養護老人ホーム沖縄一条園を訪問、園内の草刈作業を行った。

上級下士官やその家族のボランティア、沖縄市の空港通りの歩道を清掃。嘉手納基地司令官マシュー・モロイ准将や、マーク・マーソン最上級曹長も参加した。

7月 米国の独立記念日の前日にあたる7月3日、嘉手納基地内のマレック公園にて、米国独立記念を祝う基地内の在住者を対象にピクニックが開催、賑やかに記念日を祝った。



バージニア州ラングレー空軍基地の第1戦闘航空団に所属しているF-22 戦闘機が、数ヶ月間にあよぶ一時配備のために嘉手納基地に到着した。

8月 今夏は第18航空団を構成する群・中隊指揮官らが多数入れ替わつ



海軍運用施設移設工事に伴う誘導路建設のため、南側滑走路の一時閉鎖が始まる。

(次ページへ続く)

9月

米国空軍は1947年9月18日創設され、世界中に展開する空軍基地でAir Force Ballと称される創立記念を祝う催しがある。今年は創立65周年にあたり、嘉手納基地でも第18航空団司令官のもと記念祝賀会が開催された。

第5空軍司令官サム・アンジェレラ中将が嘉手納基地を訪問。嘉手納の空軍兵に向けて、米国の日本との同盟関係における責務や太平洋地域における平和と安定の維持の重要性について語った。



外務省沖縄事務所が「沖縄理解増進セミナー」を嘉手納基地で開催。嘉手納基地に所属するおよそ85名の軍人・軍属が参加し、沖縄の歴史・文化の説明を受け、古武道の演武を学んだ。



マスコミ倫理懇談会全国協議会の全国大会に参加するために沖縄を訪れていた日本の報道関係者約150人が、嘉手納基地を訪問。

10月

2012年10月1日より、沖縄の米軍基地内の家族住宅においてペットを飼うにあつたっての規則が改正。特定の犬種およびその雑種が米軍基地内の家族住宅で禁止となった。

旧暦で9月9日の菊酒にあたる10月23日、戦前嘉手納基地内にあった集落にゆかりのある人々が基地内にある拝所を訪れた。

2週間にわたる太平洋空軍による即応監査が実施され、約250人の監査官が、第18航空団の任務遂行にあたる準備体制や遂行能力を検査した。

数ヶ月にわたる展開を終え、ラングレー空軍基地所属のF-22が帰投。

太平洋空軍司令官ハーバート・カーライル大将が、就任後初めて嘉手納基地を訪問。基地内施設の視察や空軍隊員への講話を行った。



11月 マイケル・ドンリー空軍長官が訪問。第18航空団司令官モロイ准将やマーク・マーソン最上級曹長に案内され嘉手納基地内を視察、空軍兵と対話した。

初の試みである嘉手納スペシャルオリンピックス活動の一つとして、アート・オークションを開催。近隣の福祉作業所より創意工夫に満ち溢れた木工作品や陶芸、絵画などが多数出品。

第13回嘉手納スペシャルオリンピックス本大会に地元から約900人の障害のあるアスリート、その家族およそ1,000人、アート出展数500点余、通訳ボランティアおよそ450人、そして約2,00人の米側ボランティアが参加した。

12月 太平洋空軍音楽隊アジアのバンドが東京都横田基地より来沖。基地内各所や地元の児童医療施設、老人介護施設を訪問、クリスマス・キャロルを届ける。

Skoshi Kadena, published by 18th Wing Public Affairs, Kadena Air Base Kadena Web Site: <http://www.kadena.af.mil> E-mail: 18wg.pa@kadena.af.mil



Chief, 18th Wing Public Affairs Office: Major Christopher Anderson

Editors: Ms. Takako Fukuhara, Mr. Hideaki Sakihama, Ms. Keiko Toma, Ms. Sayaka Kawatake, Ms. Makiko Miyara and Ms. Derrice Daniels

Graphic Designer: Ms. Naoko Shimoji

The Skoshi Kadena is published monthly and is an authorized publication by 18th Wing Public Affairs in Kadena Air Base. Contents of the Skoshi Kadena are not necessarily the official views of or endorsed by the U.S. Government, the Department of Defense, or the Department of the Air Force. The editorial content is edited, prepared, and provided by the 18th Wing Public Affairs Office. All photographs are Air Force photographs unless otherwise indicated. Contents may not be reproduced, distributed, or translated without the prior written permission from the 18th Wing Public Affairs Office.

『スコシカデナ』は、嘉手納基地第18航空団広報局より毎月発行されている出版物です。編集内容は、第18航空団広報局により編集・準備・提供されています。掲載される内容は、米国政府、米国国防省または米空軍の見解・承認を必ずしも反映するものではありません。第18航空団広報局の書面による事前許可なしに、掲載写真や記事の無断転載を禁止します。